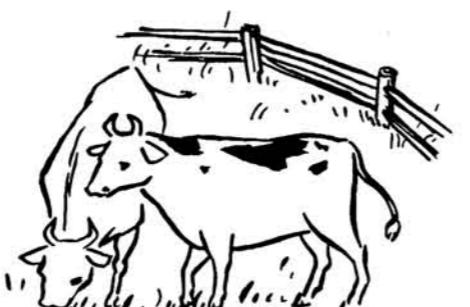
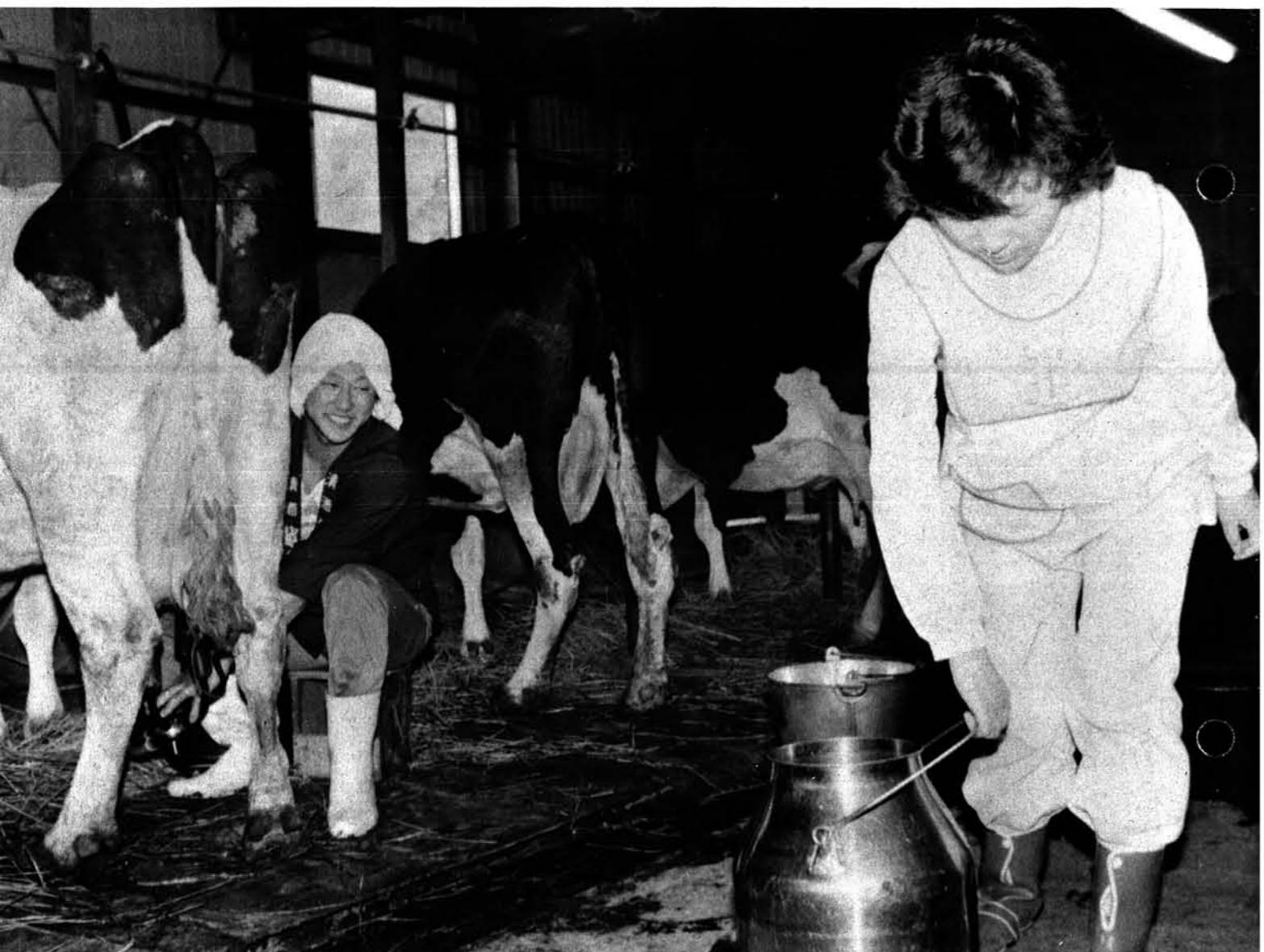


広報

やまこし

1979
5月
第131号

■発行／新潟県古志郡山古志村役場 電話 (025859) 2331 ■印刷／大川印刷株式会社 ■毎月1日発行



池谷、五十嵐誠志さん方では、孫の英利さんが結婚され、三代の夫婦がそろいました。この若夫婦は、いま、酪農を営んでおり、毎日十四頭の乳牛の世話をに行っていきます。

「村に根をおろしてできる仕事をしたい」と思つて始めたとのこと。

一生懸命がんばってほしいものです。

昭和54年5月 広報やまこし

国民年金



昭和54年度

保険料の免除申請受付

免除申請日程

○期日 五月十四日(月)

○場所 山古志村役場

住民課国民年金係

○持参品 印鑑

※ 免除申請されても、所得額、

固定資産の評価額などにより、

保険料が免除されない場合もあ

(住民課)

ります。

（住民課）

計量器(はかり)の定期検査が

下記の日程で行われます。

この検査は法律に基づいて三年

ごとに行われるもので、次のはか

りは必ず検査を受けてください。

○商店や農協などで取引に使っ

ているはかり。農家が庭先取引

に使っているはかり。

○官公庁や学校、診療所などで

証明用、身体検査用、調剤用に

使っているはかり。

○商店や農協などで取引に使っ

ているはかり。農家が庭先取引

に使っているはかり。

自動車税の税率引上げについて

今年度、自動車税の税率が自家用自動車について約10%引上げられました。主な税率は次のとおりです。

○自家用小型乗用車

1,000cc以下 二二、六七〇円

1,000~1,500cc 二五、五〇〇円

1,500ccを超える 一九、三三〇円

自家用パン(最大積載量1t以下)

1,000cc以下 九、七七〇円

1,000~1,500cc 一〇、六一〇円

1,500ccを超える 一、九〇〇円

長岡市四郎丸沖田一七二二一

長岡財務事務所 収税課

○原動機付自転車および自動二輪車

吾cc以下 七〇〇円

吾cc~吾cc 一、一〇〇円

吾cc~三五cc 一、四五〇円

三五cc~吾cc 二、二〇〇円

吾ccを超える 三、六五〇円

軽四輪乗用自動車 六、五〇〇円

軽四輪貨物自動車 三、六五〇円

農耕用小型特殊 一、四五〇円

納期限は五月三十日です
(税務課)

春季消防演習

5月8日

五月八日(火)に、村の消防団による春季消防演習が行われます。午前九時のサイン、半鐘を合図に、各分団ごとに、万一の火災に備えての機械器具の点検や放水訓練が実施されます。

春先は空気が乾燥し、さらに今年は例年以上に強い風が吹き、ちょっとした火でもすぐに大きな火災になってしまいます。

たき火、農作業中の「いっぷく」など特に注意し、火災防止に心がけましょう。

活氣ある村をつくるために——宮本先生の講演から

第4話

安易な工場誘致をしてはいけない

しつけない

工場誘致は
村を過疎化に導いた

私は工場誘致には大反対なんです。なぜだといふと、今まで過疎化をくいとめようと、工場誘致をしてきた村で、誘致した工場が逆に過疎化を激しくする大きな原因となっているからです。

山古志を含めた、いわゆる山村に来る工場は、皆、下請なんですよ。下請というのは小作と同じなんですよ。親企業の方が都合が悪くなればすぐぶされる。

昭和四十年代、景気のいい時に続々と出て来た工場は、殆んどといってよい程、資本がしっかりしていなかな下請工場だったので、石油ショックという大きな景気の波をくらって、バタバタと倒産してしまったのです。

工場が誘致された当座、若い者が百姓をやめ、工場に行きました

が、工場がつぶれると、村の中に行き場がなくなってしまったのです。一旦離れた農業には、なかなか戻れるものではありません。下請仕事では、村の中で何かやっていけるような高い技術を修得できる訳ではありません。工場に行っていた若者達は、工場が倒産した後、村から続々と出ていったのです。

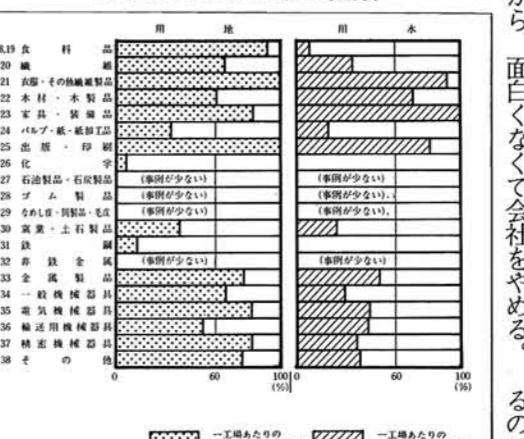
簡単に金がどれかからといって、工場誘致した工場に地元出身の幹部がいるといふことは、山古志には、一流企業がくる気つきはないんですね。今、ここに、一流企業の高度な仕事をこなすことができるような人が何人いますか。

村の人人が相当の技術力を持つて

いればそれを求める一流企業を呼ぶこともできます。いい例が諏訪湖のほとりです。諏訪湖のほとりには、日本のレンズ工業のほとんどが集まっています。というのは、あそこの女人達が糸じかけをやつていたので、その手先の器用さを使おうとレンズ工業があそこに集まつたのです。

一流企業だ、一流企業だとお題目をとなえていてもだめなんです。技術を持っていないくてはどうしようもない。素人では、結局、下働きに使われるものが落ちなんですね。

山古志にあう工業の種類



この図は、東北・北陸地方の工場の事例をもとにし、「工場あたりの用地面積と水使用量が、山古志の持つ条件（工場適地・七ヘクタール、水は殆んど提供できないが、一応一日あたり五十トン）以下的事例が、業種別の事例総数の内何割あるかを見たものです。

この図を見るとき、山古志に一番来やす

ることになりました。そこで、その農家は、宅地を開拓したりして、一度大変覚えていたのです。その時、土地を売った後、働くという、技術を持つている訳で、近づいて来た工場は、全く出来ません。自分の中へもどりながら、いつのまにか母屋人が上司になつたりしますから、面白くなくて会社をやめる。

世の中というものは、一人一人がバラバラだとこれ程弱いものはないのです。大きな資本が入り込んだりして、その中でしか立地しないので除外します。しかし、衣服・その他織維製品は、工業の中でも一番賃金の低い業種で工業全体の平均賃金の半分程度です。家具・装備品は、賃金はまあまあですが、家具職人としての腕がなくてはなりません。木材・木製品も工业としてまず「衣服・その他織維製品」、次に「家具・装備品」「木材・木製品」と統じていうことが解ります。

「出版・印刷は町中にしか立地するのです。

自分で小商売をはじめたりする。結局失敗してそこにいられなくなつたのです。こんな風にして地元の人の殆どがそこから追い出されてしまつたのです。

バラバラだとこれ程弱いものはないのです。大きな資本が入り込んだりして、その中でしか立地しないので除外します。

いわばそれを求める一流企業を呼ぶこともあります。いい例が諏訪湖のほとりです。諏訪湖のほとりには、日本のレンズ工業のほとんどが集まっています。というのは、あそこの女人達が糸じかけをやつていたので、その手先の器用さを使おうとレンズ工業があそこに集まつたのです。

いわばそれを求める一流企業を呼ぶこともあります。いい例が諏訪湖のほとりです。諏訪湖のほとりには、日本のレンズ工業のほとんどが集まっています。というのは、あそこの女人達が糸じかけをやつていたので、その手先の器用さを使おうとレンズ工業があそこに集まつたのです。

昭和54年5月

昭和54年5月

工場誘致には、細心の注意と大変な努力がいる

工場誘致をしようとする時に大事なことは、工場の資本がしっかりといることと、村人が技術を持っています。

資本がしっかりとしているということではなく、地元に対するいざとの責任をとるような企業であります。経営者の態度が、そういう責任あるものであるかどうかの見極めも大事です。

村の人達が技術を持つて、朝一にできることがあります。経営の態度をとる人達には、一朝一夕にできることがあります。経営の態度が、そういう責任あるものであるかどうかの見極めも大事です。

工場誘致をする時に、色々と努力をして、こうしたことが解決していれば、村と共に存する工場となります。

工場誘致をするなら、地元の幹部を入れる

さて、資本のしっかりとした工場を選ぶ、村に相当の技術力を備える努力をするという、大事な点をおさえ相手の觉悟をして工場誘致

出でて、町が精糖工場を誘致したんだということで、いただけになつておまりまして、百姓の忙しい時もかまわず、いつまでにまで砂糖きびは出せ、そうしなければ砂糖きびは

相手の幹部となるには、相手の幹部となるには、

進出してきた工場に地元出身の幹部を入れることで、地元の利益が非常に大きくなることがわかります。しかし、種子島の例にも出た訳ですが、工場は町に呼ばれてきたんだということで、いただけになつておまりまして、百姓の忙しい時もかまわず、いつまでにまで砂糖きびは出せ、そうしなければ砂糖きびは

自分がもとになつて、町村合併の時に一方は川越という大きな町、一方は南古谷という小さな村が、合併をする時に対等合併をした大きい力となつてゐるのです。古谷村にそれだけ経営の才を持った人がいたことで川越市の帳簿のウソを全部暴いたのです。この帳簿の

構成 和田典久

